職工二千名暴りたつて 製鐵所暴動の巷となる

本事務所の窓硝子を叩き破る 中央機關場の機關四十本中止 小倉憲兵隊の出動を見んとす

八幡

製鐵所職工一同は白仁長官の教え切らざる誠意なき態度に憤激したる者か二十四日早朝に至り俄然不穏の形勢を呈し來り午前六時の交替時間に際し入門したる職工の一團五十餘名は茲に結束して中央機關場を初め各工場の作業中止を強要して先般來要求不徹底の爲めに陰性的サボタージユを継續し居たる、各工場の職工連中は一波萬波、急潮の奔逸するが如く又は燎原の火の勢ふ、否恐く燒き盡くさずんばやまざるが如く其の數次第に増加し來つた本事務所前に

集合

したる者は六七百名以上の多數に達し天地も崩れんばかりの鯨波を揚げ或は口々に皮肉なる罵聲を放ち本事務所を初め各方面に投石して木ツ葉微塵に窓硝子を破壊し職工數名群集を見下し石階上に立つて熱烈なる語調を以て演説を試みた、言々句々是れ血、是れ涙、忽ちにして群集の數は洪水の如く汎濫し來り其の數二千四五百名に達した午前九時半より八幡市の高丘に位せる豊山公園に大集合の目的を以て列を作つて製鐵所外に踊り出で

朝夕塗ける一滴で知らぬ間に色を白くする ホーカー液

喊聲

は非常に悪化し益々不穏の状況を呈した製鐵所内の機關場は未だ破壊さるゝに至らざるも熔鑛爐は既に午前六時より休風の儘である中央機關場の機關中四十本は作業を中止した第二機關場は未だ異状なきもであるが此儘に放任せば何時危險の勢に達するか計られない、熱狂せる群衆の一團は午前十時頃九軌電車中央區停留所と藤の町停留所との中間なる

製鐵

前隊下に集合し鼻下八字髯ある男が大聲を張りて演説を試みた又他の一團は黒崎行九軌電車第九號の硝子窓を叩き破り、さなきだに熱狂せる群集は破壊の痛快味に烈火に油をそゝぎたるが如く益々吹り立たんとするより八幡警察署小倉署及若松署の警官總出にて、より出動せる警官隊と共に之れが制止せんとしたが應ずるの色なく小倉憲兵隊より憲兵の出動を促して居る事態愈々重大を加へ來つたやうだ（廿四日午前九時發）

果然！製鐵所の 大罷業再發

午前六時の交替時間に、大喊聲を相圖に罷業す 要求の貫徹を期す

過般勃發したるが八幡製鐵所全職工の同盟罷業事件は其後表面沈靜し、職工も一應復員したので製鐵所當局も多寡を括つて樂觀し、警察當局も其の主動者たる勞友會の幹部さへ檢束して了へは以て後患を斷つたものさ誤信した有樣であり、多數新聞紙は製鐵所及び官憲の意を迎へて罷業が失敗の結果を以て終熄した如き報道するに努めたが、本紙は常に表面沈靜の現象を呈しつゝあるは官憲の高壓に依る一時的のもののなりとし、其の要求が貫徹せざる以上真の平和なる解決は望まれざる旨を報道して置いたが果然全職工は再び廿四日午前六時の交替時間より大同盟罷業を斷行して本紙の豫報を裏書するに到つた。之より先き豫報した如く、勞友會友愛會の幹部等は製鐵所當局の誠意なき回答に激憤し連日報告演説會を其の本部支部に開催して其の眞相を會員に報告し、或は上京委員を馳せて農商務大臣に面會し白仁長官が提へて陳請する等警官隊監視の下に堂々と所期の貫徹を圖るに努め多數會員等も幹部の勞を多としつゝ徐に時の到るを待つて居る矢先、去る十九日午後六時の交替時間に該機工場の鉄人夫百五十餘名が罷業をやつて罷業氣分に油を注ぐあり白仁長官が上京委員に對して茶化し半分に不眞面目なる應答を爲したる事の新聞紙上に傳へらるゝあり、共濟組合の共金約十七萬圓を何等規約にも基かずして同會理事田島際太郎氏等が無斷にて八幡市に貸付たる事實の曝露さるゝあり職工職夫の激憤は彌よ加はりつゝあつたが、恰も廿四日午前六時の交替時間に際して朝鮮職夫が再び騷ぎ立つたのを動機として例の如く大喊聲は全工場に響應し、スワ事よと驅けつけたる守衛等は職工等に脅威せられて頭を割らるゝ者二三人を出だして却つて其勢を助けたが職工等は其後前回の如き暴行を慎んで口々に「五ヶ條の要求が全部貫徹する迄は仕事に就かぬ」と稱しつゝ全工場内に於て罷業を斷行するに至つた。八幡署は急報に依り縣警察部に急報すると同時に部内の非常召集を行ひ、附近各署の應援を乞ふたので目下警察隊は續々來援しつゝあり、再び全市の廢頽状態を呈するに至るたらうが此の日早朝より林立せる大煙突は中央汽鑵部以下全部煙を吐かず、折柄風雪の荒涼たる市に一層の寂寞なる光景を呈して居る（午前十時記）

職工の行動を監視して居る或は怖け付きたるか或は責任を叫びつゝ或は「やつつけれ」「叩き毀せ」等と怒號して居るが先日の如き防遏手段には出でず警官隊は既に要所々々を固め居た

◇前非を 悔たるに出でしや守衛等も一室に集まりて如何とも手の出しやうもなく傍觀し居た（十一時四十五分發）

飛雪紛々たり 烈風の如く 喊聲八幡全市を震蕩す 交渉委員を選んで肉迫

◇廿四日 午前六時交替の八幡製鐵所職工は交替時間を機として再び罷業を斷行せる事は別報の如くである記者は急報に接し早速製鐵所に駈け付けたるに既に大部分は構外に出で市の中心八幡山に向ひワツシヨ〳〵と馳せ集まりつゝあつた山頂は黒山の如き群衆を以て埋もれ喊聲頻りに起つた南門に至れば、守衛室は無慘にも破壊され守衛池田某は顔部に負傷し多數の職工は續々と退出しつゝあつた

◇所内に 入れば各工場は寂寞として死せるが如く各大煙突は之れ又沈默して僅に一二本殘煙を吐いて居る東門より來れる約二百の職工は各工場に殘り居れる職工職夫を誘ひつゝ水道鍛冶工場に喊聲を揚げて押寄せそれより數作工場迄順に廻り盛なる示威運動をなし居た中央機關は既に停止し熔鑛爐は鎔鑛の凝結を恐れ熔解せる鎔鑛を排出しつゝあり

◇大紅蓮 灼鐵は火の帶の如く釜より滔々と流れ出で凄慘を極めた本事務所に至り田島庶務課長に面會を求めたれども出勤し居らず行衛不明との事なれば南部文書課長に面會し今回の罷業に對し意見を求めたるも要領を得ず今朝六時半數千の職工が事務所に押寄せ事務所表側の窓ガラスは殆んど破壊され長官室庶務課長室、次長室等のガラスも亦破壊して居る午前十一時には所内の職工殆ど退出し各工場は全く墓場の如き觀を呈したる一方八幡山に集合せる數千の職工職夫は委員を求めて本事務所に

◇押寄す 可く協議し居たるが此れより製鐵所購買會に押寄せたれど勞友會本部より森永幹事急を聞き購買會に駈けつけ頻りに力めて居る夜來る烈風に粉雪交り各處に喊聲は全市を震撼し物凄き有状である各職工職夫は何れも長官の不親切無誠意無

◦◦一言無かる可らず◦◦

一言なかるべからず、再び八幡製鐵所の大罷業事件勃發を見たるは何故ぞや、然も手段は前回より一層險化惡して或は硝子窓を破壊し罵詈雜言をなし飛雪粉々裡一大示威運動を爲しつゝあり、今や製鐵所は巨大なる恐龍の化石の如く横はり煙突又煙を吐かず慄然たる恐怖に襲はれて喊聲全八幡市を震蕩す是れ何の兆ぞ！他なし白仁製鐵所長官の不誠意と部下の役人輩が不親切の結果のみ職工の要求の可否は姑らく論ぜず容るべしとして容る可らずさしても長官は一萬三千の職工職夫の父として今少しの温情と涙とを有せざる可らず不祥事再發は長官其他製鐵所當局官吏の責任也、大責任也、而して又原内閣の責任也、彼等の徒は辭職以て一時の責は免る可し併しながら官營工場に於て勞頭第一日本の勞働運動を惡化せしめたる責任は何を以てか償はんとす、萬死も許す能はず呼！上に聖天子あり、下に此の無自覺なる内閣あり吏僚あり諸君と共に日本の前途の爲めに泣かん、飛雪紛々たり、嚴風荒涼たり點火せられる階級鬪爭の烽火を何ごか見る。

少壯外交官 總辭任の意氣卷く

某重大事件の懲罰問題 擴大して霞ケ關闇黒か

◇外交上 の某重大事件に就いては既に貴族院及び衆議院方面にも盛に現内閣失態の火の手を高め御大原首相の苦心のほども思はれるが愈近く閣議を開いて其の責任者を明かにする事となつた際に原首相が「責任者は必ず處分する」で議會で言質をとられてゐるのでその結果を何人か槍玉にあげられるか昨今の霞ケ關こそけに凄じい

◇低氣壓 の中心に置かれて居る、さても事件調査の外手を承はつた懲戒委員會では某課長、局長邊りまで累を及ぼすべき形勢官の取り調べを始め續いて課長、なので省内少壯外交官連の激昂その極に達し萬一一同僚が處分される時は一同總辭職をする腹を固めた

◇某高官 は昂然として語る「事の起りは外交の顛末を民間の識者に知らせる爲めは、熱意に出でた事だが、それに「極秘」のスタンプが無かつたので問題が大きくなつたのだあれ位の問題が國交上に重大な影響を及ぼすか否かは別として原さんが議會で責任者を懲戒するなど、言明するのは滑稽であり以ての外だが言ひ出した以上は後にも引けまい萬一此の爲め

◇事務官 や課長も懲戒處分にされるやうでは我々は一日も安んじて勤める譯には行かぬ尤も懲戒委員會の前途に一縷の望みはあるもの、之でホンとに外交を知る者の行つてる譯ぢやなし又原さいふ人は一人や二人職る事は何とも思はぬ人だから愈噂の通り某々同僚が引責辭職でもさせられやうなら

◇僕等も 擧つて同盟罷業を斷行しさなきだに人物払底の霞ケ關を闇にして見せるよ」

欄干に 植木を

植えた最初の橋 明治神宮の表參宮道路は東京青山北町六丁目を入口として廿間の幅員で一直線に穏田、原宿を貫通して代々木練兵場の右手七十五間に到達する計畫で之には二つの橋が架せられる第一の澁谷川に架設の橋は幅員廿間、長さ廿間半の鐵筋混凝土の終點神宮境で今一つは表參宮道の終點神宮の入口大鳥居を距る廿間の所に位する

◇幅十六間 長さ十一間の一大鐵筋混凝土橋である右に當つた谷井氏は語る明治神宮表參宮道路橋は伊勢神宮の宇治橋に髣髴すべきもので十一月三日神宮鎭座の